

令和2年度地域猫活動推進事業の結果報告について

茨城県では、地域が取り組む地域猫活動を支援し、猫の不妊去勢手術費用の補助を行っています。

令和2年度は21市町村、115地域、1,758頭分の申請を受け、手術実績の報告があった1,529頭分（雄猫495頭、雌猫1,034頭）に不妊去勢手術費用の補助を行いました。

※地域猫活動は不妊去勢手術の徹底及び周辺美化など地域のルールに基づき、飼い主のいない猫を地域で飼育管理する活動です※

標記事業における実施後の効果として、実施した21市町村から190件(延べ数)の報告がありました。

主な効果として、繁殖の防止・野良猫の数の減少(60.9%)や糞尿被害及び糞尿被害に関する苦情の減少(17.4%)等、実質的な被害の改善に関するものが多く、次いで近隣住民への啓発効果(21.7%)等、住民の意識向上に関するものがあげられました。

<地域猫活動推進事業を実施したことによる主な効果（報告件数190件115地域）>

主な効果	報告件数	効果の割合(%) (報告数/地域数)
繁殖の防止・野良猫の数の減少	70	60.9
近隣住民への啓発効果(※2)	25	21.7
糞尿被害及び糞尿被害に関する苦情の減少	20	17.4
環境改善による苦情の減少(※3)	18	15.7
鳴き声及び鳴き声に関する苦情の減少	16	13.9
猫の交通事故の減少	12	10.4
発情期の雄猫同士の喧嘩の消失	7	6.1
手術実施猫の性格が穏やかになった	6	5.2
その他(※4)	16	13.9

(※2) 啓発効果

- ・近所の方たちが地域猫活動を理解してくれ、交流が円滑になった。
- ・飼い主の飼養意識が向上した。

(※3) 環境の改善

- ・数が固定されて、餌場やトイレの管理が適切にできる。
- ・猫の数が減ったため、周辺の環境が良くなった。

(※4) その他

- ・畑や庭が荒らされなくなった。
- ・手術後里親に譲渡することができた。

## 地域猫活動推進事業を実施したことによる主な効果

